

2001年5月1日

100号

議会 こうた だより

花いっぱい
幸田の春を散策



〔須美 もも団地にて〕

特集 **子ども議会開かれる** 町の将来について9人が問う P2

心のかよう活力あるまちに —110億円(一般会計)を可決 P6

私の好きなことば・町の声 P11

議会だより100号のあゆみ P12

一般質問「**廃棄物の処理方法は**」など8人が登壇 P14

初の「子ども議会」開く

100号記念
特集

9人が登壇し提言

2月17日(土)、幸田町子ども議会が町議会の本会議場を使い、初めて行なわれました。

子どもたちに、もっと幸田町の町づくりについて関心をもってもらおう。そして幸田町について疑問や意見を聞かせてもらおうと、議会だより100号記念に合わせ町議会側からの提案により、教育委員会や各学校の協力を得て実現したものです。

この議会には町内3中学校、6小学校から代表それぞれ3人、合計27人が参加をし、議席を全部使った開催となりました。

質問は各学校代表1人、計9人が行ないました。地元に着した問題や、町の将来についての提言や質問で、町長もついつい熱の入った答弁でありました。

傍聴席は満席 議長は幸田中・永井君

議会の開会は9時30分でしたが、8時30分頃からは代表議員が大きな声で「おはようございます」と緊張した様子も見せず議場に入り、9時少し過ぎには全員が定められた席に付くという状況でした。

また傍聴席は父兄や学校関係者らが大勢つめかけ、



幸田中 永井亮太くん

通常の本会議とは違った雰囲気、むしろ議員よりも傍聴席の方が緊張した様子



の中で会議が開会されました。

開会式では、典令の北部中学の石川恵さんの言葉に始まり、議員代表として南部中学の近田真志君が「本日の提案が一つでも採用されれば、幸田町も良くなっ ていくと思う。また私たちが政治に関心を持つことがこれからの町づくりにも役立つでしょう」とすばらしいあいさつ。議員控室で傍聴する町議会議員らも、ここにこ顔で、目頭を押さえる者もチラホラ。

続いて議長席に幸田中学の永井亮太君が着き、開会



の宣言をして議会が始まりました。



町長

冒頭、近藤町長より「皆さんの意見を真剣に伺い、参考にして行政に生かしていくことを約束します」というあいさつを頂き、各学校代表が次々に登壇しました。

「大へん緊張しました」

子ども議員インタビュー

どんな感想をもったか

子ども議会が終了して間もなく、まだ記憶も新しいうちに2月23日(金)、私たち議会広報特別委員会の委員7人は手分けして3中学校、6小学校を訪問し、出席された子ども議員や先生方にインタビューを試みました。

記者 先日の子ども議会にはご出席、ご苦労さま。

A 初めてのことで色々と感じられたことも多かったと思います。今日は気楽な気持ちで、お話しを聞かせて下さい。

B では初めに子ども議会を行なった感想からどうぞ。

C 学校の代表というプレッシャーもあり、大変緊張した。でも良い体験ができたと思っています。

D 緊張で胸がドキドキしましたが、私たちの質問や提案に町長さんが真剣に答えてくれたので、うれしかったです。

E 他の学校の提案も大変参考になり、すごく勉強になりました。

F 幸田町がどんなことに取り組んでいるのかを、直接聞くことができ、とてもよい勉強になったし、参



加して忘れられない体験ができた。

記者 21世紀の幸田町について話し合え、政治に関心を持つことができました。

記者 皆さんが「参加できてよかった。」と言って頂き、私たちも大変うれしく思います。

答弁をどう感じた

記者 皆さんが色々と下調べをし、それを町に提案して頂きありがとうございます。

記者 では次に、今回の質問を取り上げた理由について教えて下さい。

A 総合学習の授業の中で感じて来たことを



質問を取り上げた理由は

質問としてまとめた。

B 全校でアンケートをとる、皆の関心や意見の多かったものをテーマにした。

C 4年生の時から尾浜川をきれいにしようと思いましたが、なかなかきれいにならないので、今回提案した。

D 幸田特産の筆柿が、もっと有名になればよいと思ったから。



れ、記録が取れなくなった所がある。

D 「実現に向けて努力する。」という答弁で...これが実現できたらなと思っっている。

提案に対して町長や担当部長の答弁はどうでしたか。納得できましたか。

A 町長さんの答弁はやさしく、具体的で分かり易かった。どれか実現してくれるとうれしいのだが。

B 尾浜川のヘド口を掃除してくれるとうれしいのだが。

C 時々むずかしい言葉(専門用語)で説明さ



以下はそれぞれが持ち寄った結果を、対談形式でまとめたものです。

今後どのように思うか



記者 今回子ども議会を初めて行ないましたが、今後どうしたらよいかについてお考えを聞かせて下さい。

A 幸田町に対する夢や希望はみんな持っている。これから子ども議会でも町長さんたちに聞いてほしい。

B 私たちの提案が一つでも町政に生かされていくなら、地域や幸田町を見る目ももっと違って来るので非常によいことと思う。これからも続けて下さい。

C 自分たちは本当によい体験をしたので、次の年代の人にもこうした機会を与えてもらいたい。

D 僕は出席したが発言の機会がなかった。全員

先生 年一回くらいなら毎年続けてほしいですね。一部の先生から「毎年だけのテーマが子どもたちから出て来るかな」という本音も聞こえて来ました。

記者 では、これを機会に毎年行なった方がよいかどうかお聞きします。

子供たち 毎年やってほしいです。



先生 に発言させてほしいかった。再質問の時間があるとこれができると思う。初めは子どもたちも主旨がよく理解できなかった。

毎年行なった方がよいか

先生 特別な生徒だけでなく、もっと大勢の生徒に体験させたい。傍聴席も時間制限で入れ替え制にして、クラス全員に聞かせたい。

記者 各学校とも大体同じような意見で、「これからも続けてほしい」ということになりましたね。ただし



先生 方法については一考を要するということですか。

先生 先生方からも貴重な意見をありがとうございます。

記者 本日は大変ありがとうございました。平成13年度、子ども議会をどうすごしました。平成13年度、子ども議会をどうすごしました。



教育長の感想



教育長

子ども議会を終わり、斎藤教育長にも感想について寄稿して頂きました。

「夢を語る子どもたち」

子ども議会に、限られた代表ではありましたが、全校の意見を吸い上げたり、授業で取り組んだ内容や行政の人たちにも広く知ってもらおうと真剣に提案され、幸田町に対する熱い思いが伝わってきました。

今育ちつつある子どもたちが幸田町の将来を担っていくという大きな期待がふくらんでくる一日でした。

初めての子ども議会でしたが、子どもたちも先生方も実施に対し、非常に前向きに考えられていると受け止めました。

今回提案された内容は、現状の問題点や課題をよくつかまえて、夢や理想として実現を訴えており、すばらしいの一言であったと思います。

今後この子ども議会が継続して行なわれ、子どもたちの参加意欲を引き立て、議会や町政への関心を高めていくためには、今回提案された内容が一つでも、二つでも町政の中で実現させていくことが何よりも重要であると思います。

「検討します。」と言った答弁には、検討した結果を一日も早く子どもたちにフィードバックすることが求められると思います。

私たち議会や行政にたずさわる大人たちとして、何かと反省させられることの多い子ども議会であったと思います。

記者所感

政策予算を読む

反映5本柱を策定

3月定例会

今議会は、3月6日に召集され、25日間の会期で開催されました。年度初めでもあり、町長施政方針を受けて提案された13年度一般会計110億4,280万円。12年度補正予算1億8,555万円、その他特別会計、水道事業会計や町職員の再任用に関する条例の制定など24議案が上程されました。

また最終日に、町税条例一部改正の3議案が追加上程されました。

これらの案件について慎重に審議を行い、いずれも原案どおり可決しました。

一般質問では8人が町政全般にわたって厳しく問いただきました。

一般会計

110億4,280万円

4.1%増

安全で快適なまち

土地区画整理は、まちづくりの基本である。

町の顔である幸田駅前地区の市街化整備と商業活性化を目指し中心市街地活性化事業に基づき、土地区画整理事業等の事業化推進。相見地区市街化拡大に伴い

工事着手に向け調査し、本格的な工事実施を目指す。土地区画整理関連事業に1億9,900万円。公共下水道事業に1億540万円が予算化された。

それぞれ町の根幹とする事業の推進を求める。

保健と福祉のまち

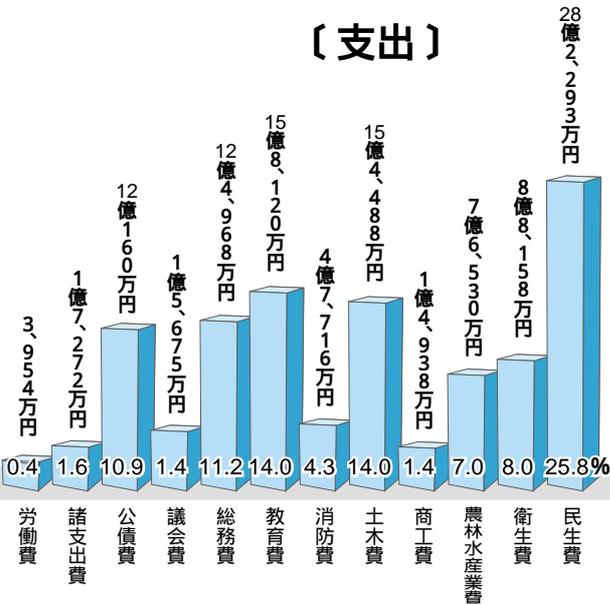
健康づくりには、自己管理意識を持つことが基本である。町民の健康増進を図るサービス体制の充実強化と地域住民を中心とした健康づくり事業を推進する。

900万円が予算化された。町民の幸せのための福祉の充実を求める。

高齢者福祉は、介護保険事業計画を基本として長寿社会づくりを進める。

特に居宅介護サービスの充実に努め、痴呆予防事業にも取り組み、介護予防のサービスが、きめ細かく受けられる体制整備を図る。介護保険関連事業に7億

〔支出〕



民意

● 活気ある 明日のまち

農業基盤は、県ほ場整備が残り2地区のみとなり、事業完結にむけて指導推進する。

農業集落の環境整備のため農村振興総合整備事業計画の作成と推進。

菱池遊水地建設計画を菱池開墾地区のほ場整備と合せて事業に取り組み推進する。

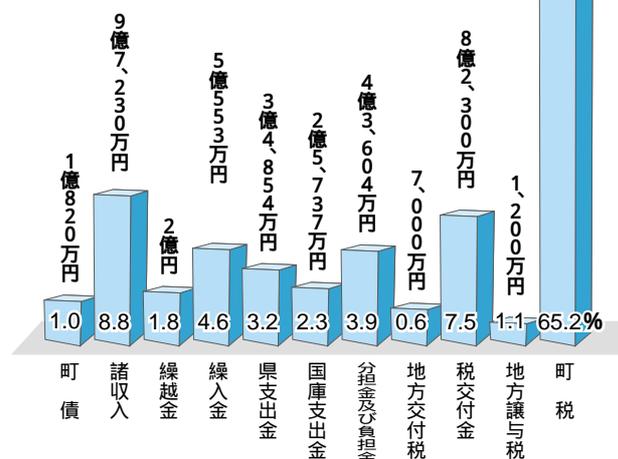
72億180万円

商工観光には、商業関連施設の整備改善を検討、商工会が策定するTMO構想に基づく活性化事業を支援する。

農業振興関連に4、390万円。

商工観光事業に1億3、230万円が予算化された。各産業の振興推進を求め

〔収入〕



● 交流と創意 文化のまち

ハッピネス・ヒル・幸田を核として、多くの町民にふれあいと質の高い文化と芸術を深めるため、文化振興協会の支援と、生涯学習の推進。

開かれた魅力ある図書館の充実を図る。

スポーツ振興は、住民の心と体の健康をはかるため町民大運動会

各種スポーツ教室等の開催、レクリエーション的要素も取り入れ積極的に推進する。社会教育関連施設管理運営事業に4億1、130万円。

社会体育推進事業に1億5、370万円が予算化された。

● 人と自然 共生のまち

環境問題の中で、ごみ問題は深刻な状況である。ごみの排出量は年々増加しており減量化・資源化及び施設整備が早急の課題となっている。

ごみ等収集処理事業に、4億5、830万円が予算化された。環境の保全と整備の推進を求める。

家電リサイクル法への対応や、可燃ごみの減量を図るための生ごみの堆肥化、再生利用できるものの資源化等、循環型社会の構築を推進する。

主な事業

道路橋梁新設改良・整備事業	2億9,370万円
農業集落排水事業	4億4,390万円
心身障害者福祉関連事業	1億2,409万円
福祉医療事業	1億3,218万円
児童福祉関連事業	1億5,127万円
小中学校施設整備事業	1億 399万円
コミュニティ推進事業	5,670万円
戸籍住民基本台帳整備事業	4,518万円

当初予算Q&A

こんな質問がありました

菱池保育園建設

調査設計

1,050万円

Q 建設地はどのような経過により選定されたか。

A 通園地域内の、岩掘地区で用地選定を進めましたが土地調整ができず、町所有地で防災広場の内、北部の一角を指定しました。

Q 保育園の規模と、今後の予定はどのようになっているか。

A 規模は通園地域を横断地区の人口増を見込み、

120人保育規模とし、少子化対策のニーズに応え、0歳児保育も考慮している。

幸田中央公園整備

1億3,863万円

Q 中央公園の整備の概要はどのようになるか。

A 面積6.1haです。大きく3つのエリアになります。

- (1) 多目的広場運動場ゾーン
- (2) ちびっ子広場ニースポーツゾーン
- (3) 憩いの広場いやしエリアとなります。

運動場は200mトラックになり将来400mトラックもできる規模の広場となります。

いやしエリアは現在ある樹木を生かした緑の多い春夏秋冬四季を通じて町民の皆さんが憩える広場とします。

Q 公園整備のスケジュールはどうなるか。

A 今年秋の町民大運動会が開催できるように200mトラックの運動場を整備します。

きます。

建設予定は13年度に調査基本設計・実施設計、14年度に建設し、15年4月開園したい。

公共下水道推進

11億543万円

Q 流域下水道事業の完成予定は。

A 全町下水道化の基本施策により、平成22年度完成を目標に推進します。

Q 地区の境や、離れ地域は、合併浄化槽方式に切り替える考えは。

A 市街化区域と市街化調整区域の狭間地域や、離

その他については、13・14年度で、園路と広場、便所及び水飲み場、照明施設等の整備をします。15年から22年度にか

けて都市公園事業として遊戯施設、休養施設、植栽等修景施設を長期計画で整備して行きます。

れ地域についても基本的な下水道整備で取り組んで行きます。特別な所については合併処理方式も検討し検討します。



工事が進む幸田中央公園

その他の議案

Q&A

3歳児の入院医療費

無料

近年、少子化対策は重要課題とされており、幸田町

証の返却時に、よく説明をします。

においても、本年4月より、高額医療費の負担が求められる入院費を新たに助成にすることに決定し、安心して治療が受けられるよう、

3歳児の入院医療費の無料により、予算額はどの程度になるか。

3歳児の入院費用が無料化された条例が改正されました。

約300万円程度見込んでいます。

3歳児保護者への周知は、どのようにするのか。

通院医療まで無料にした場合、どの程度の金額を要するか。

乳幼児医療費無料受給

近隣市町村は、通院も無料にしている所が多くなってきたが、幸田町は、今後どう対処するのか、また対象年齢の拡大も考えていくのか。

3歳児の入院医療の無料化は、大きな前進であり、通院無料、年齢拡大は状況をよく把握して考えていきます。

(全員賛成で可決)



公務の能率的運営を確保

職員の新たな

再任用制度の導入

新もある。

本格的な高齢者社会に向け、年金の支給年齢が引き上げられることに伴ない、職員の65歳までの雇用を確保することが必要になり、幸田町職員の再任用に関する条例を制定した。条例の主な内容は、

一、25年以上勤続して退職した者、
一、任期は1年とし、更に

(全員賛成で可決)

開発交付金の

引き下げ

昭和46年より、開発事業用地の円滑な取まとめにより、地域開発の促進を図るために制定されたものである。しかしながら、制定当時の環境(土地価格等)と、現下の状況との隔りが著しく、社会経済情勢を考え、開発事業協力交付金の交付に関する条例の一部改正です。

一、交付率を
15 1000 5 1000に改める。
一、平成13年4月より施行

開発事業協力に対して、近隣市町村の地元への対応はどうなっているか。

幸田町は近隣市町村より高い、交付率4 1000のところが多い。

(全員賛成で可決)



安心して治療を受けられるように



平成

12

年度

最終補正予算を

可決

会計年度も終りに近づき、各事業の執行や中止などの精査を行い、増額や減額をするため、一般会計補正予算をはじめ9議案が上程されました。

慎重審議されいずれも原案どおり全員賛成で可決しました。

主なものは、国民健康保険特別会計に、7、022万円繰り出し、老人保健特別会計繰出金を6、849万円追加しました。

一般廃棄物最終処分場の用地が決らず調査設計等の費用1、460万円を減額

平成12年度3月補正

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		1億8,556万円	120億8,215万円
特別会計	土地取得	1,897万円	40億8,753万円
	国民健康保険	4,780万円	18億5,553万円
	老人保健	2億2,735万円	19億6,168万円
	介護保険	1億1,732万円	6億2,628万円
	通所介護サービス	14万円	1,212万円
	農業集落排水事業	2,752万円	4億6,854万円
	下水道事業	1,020万円	15億5,923万円
企業会計	水道事業	2,056万円	6億9,950万円
	収益的支出 資本的支出	3,924万円	2億692万円

幸田中央公園の周辺道路用地買い戻し等で2億8、524万円を追加になりました。

諸支出金では、財政調整基金として2億7、660万円、都市施設整備基金2億円を利子及び一般財源の

目的で積み立てました。特別会計で、老人医療費増加により給付金を2億3、400万円を追加しました。介護サービス事業は初年度であり実績が下がり、1億6、574万円の減額となりました。

審議された主な議案



国道248号の工事風景（里地内）

単行議案

- ・「西三河南部水道企業」は「西尾幡豆広域連合」に改める一部改正……………（全員賛成 可決）
- ・町道の整備及び管理を必要とする認定及び廃止（全員賛成 可決）
- ・町税条例の個人町民税では長期譲渡益課税の特例の延長、固定資産税の特例措置の創設等に伴う一部改正（賛成19 反対2 可決）
- ・町都市計画税条例の一部改正……………（全員賛成 可決）
- ・町国民健康保険税条例の一部改正……（賛成19 反対2 可決）

平成13年度当初予算

- ・一般会計……………（賛成19 反対2 可決）
- ・土地取得特別会計……………（全員賛成 可決）
- ・国民健康保険特別会計……………（賛成19 反対2 可決）
- ・老人保健特別会計……………（賛成19 反対2 可決）
- ・介護保険特別会計……………（賛成19 反対2 可決）
- ・通所介護サービス特別会計……………（全員賛成 可決）
- ・農業集落排水事業特別会計……………（賛成19 反対2 可決）
- ・下水道事業特別会計……………（賛成19 反対2 可決）
- ・水道事業会計……………（賛成19 反対2 可決）

わたしの好きな

言葉

「和」

私は野場に暮らすようになって早19年が過ぎようとしています。子育ても一段落した近頃ふと思う事は、様々な事があつたけれど、皆さんのおかげだなあと云う事です。

人が人として生きるのには、知らず知らずのうちに人に助けられ支えられて、生かされていると云う事を強く感じます。それが隣近所、地域の人であればなおさらです。

日常生活が高度になりつつある現在ボタン一つで簡単に事が済み、人と係わる事もなく、毎日に流され、近所付き合い、人付き合い



[野場]
小林直子さん

は面倒、煩わしいと思う事もあるかもしれせん。だからこそ人とつながり、人との和が大切なのではと思います。

的で心がなごみます。私はこれまでの人とのつながり、人との「和」を心の財産と思ひ大切に行きたいと思ひます。

和と云う字はやはり日本



町のこえ



[芦谷]
山崎辰雄さん

少年の非行 叱る大人の勇氣

自販機で中学生らしい少年がタバコを買ったところを見た。12時過ぎた深夜だった。少年は罪の意識がないのか、3、4人で堂々と買っている。

私は叱ろうか、叱るまいかと迷いながらその場を通り過ぎてしまった。何をするか解らない今時のその少年たちが恐かったのだ。その時の、ちよつとした叱る勇氣が、私を含めた今の大人たちにはない。

警察や行政にも体力に限界があり、こんな些細な事を取り締れと言うのも気がひける。末端で社会の大人たちが、ちよつとした勇氣を持ち、注意すれば防止できる非行もある。非行をする場所や状況を少年たちに与えなければいい訳だ。注意したり、叱つたりする大人たちの勇氣の無さが非行を増幅させているのかもしれない。

どこかの町が条例化したように、タバコの屋外自販機の撤去も、ひとつの方法かもしれないと思う。

議員定数 検討委員会 発足

町村議会議員の定数は、地方自治法91条により、人口2万人以上の町村にあつては法定定数は30人としていますが2項において、定数は条例で削減することができるとなっており、2項により幸田町では、昭和62年から議員定数を22人と定めて今日に至っています。

2月13日、幸田町議会議員のもとに、議員による議員定数検討委員会が設置されました。

委員会は各会派から1人、各小学校区から1人の割合で選出された10人の委員（議員）で構成されています。これは議員の定数について、自から長期的な視野に立つて幅広く検討し一年後を目途に結論を得ることを目的としています。

創刊より27年

「100号記念誌に あたり」



議長
山田 元

ここに幸田町議会だより第100号を発刊できますのも町民の皆さま方、先輩議員の深いご理解の賜物と感謝申し上げます。

昭和49年11月1日創刊以来、27年間、議会活動の内容を広く町民の方々に周知し、町政に対するご理解と自治意識の高揚を図るための「かけ橋」にと努めてまいりました。さて、創刊号には、重要河川改修、区画整理、総合的医療機関の問題

等々の記事があり、住環境問題はいつのときも「まちづくり」の重要な課題であると考えさせられます。

議会だよりは、町民の皆さまに読まれてこそ価値のあるものであり、この議会だよりが皆さま方との「かけ橋」となるよう願うところであります。本号は一つの節目として、更なる町の発展の礎として寄与できることを願いたします。

議会だより

100号のあゆみ



昭和49年11月創刊号を発行してから、記念すべき100号になりました。

その間、皆さまに親しまれる「議会だより」を発行できるよう、編集委員も努力してまいりました。21世紀に向けて、ますます町民に愛される「議会だより」に心がけます。

過去に記載された、重要案件、一般質問等、振り返ってみたいと思います。

創刊号 昭和49年 11月発行



- ・人口 23,023人
- ・一般会計予算 16億4,748万円
(・七夕豪雨被害 総額14億円)

当時の 一般質問より

医療センター推進は

本町はいまだ健康を守る総合医療機関がなく、人口から見ても必要であり今後の方針、考え方は、総合病院は町の財政では至難であるので、私立医院、私立病院を誘致したい。

町の防災対策は

予知、予告できない天災に対し、防災計画なり、防災訓練の実態を指導する必要があると思うが。

市街化内は児童公園を設け、そこを緊急避難場所としたい。

第28号

昭和58年

4月発行



ピカピカの新校舎

- ・人口 27,596人
- ・一般会計予算 54億5,400万円
(幸田第2の中学校として南部中学校開校)

当時の
一般質問より

Q 流域下水道の現状と今後の対応、また汚水、下水処理の普及は。

A 終末処理場の埋立免許の申請がされ、今後は進捗が早まるので、本町も他市町村と充分な連絡協議し、早期に進捗するよう努力する。また農村集落排水事業として、新田永野地区で、59年度農林省採択を願うよう計画作成を行なう予定である。

第50号

昭和63年

11月発行



- ・人口 29,612人
- ・一般会計予算 74億3,900万円
(南部地区下水道工事始まる)

当時の
一般質問より

Q 保育園制度の見直しは深溝、上六栗、菱池保育園の改築年次計画を明らかにし、早期改築の実現をさせたい。

A 3園の改築計画は、深溝保育園が平成8年度、菱池、上六栗については順次改築していきたい。

第70号

平成5年

11月発行



深溝小学校運動会一輪車パレード

- ・人口 32,570人
- ・一般会計予算 93億500万円
(町民会館建設用地の造成始まる)

当時の
一般質問より

Q 身体障害者の福祉対策について

現在幸田町の授産所は、深溝の老人福祉センターの一角に、形ばかりにできている。町が計画されている、「老人生きがいの家」建設に対し、身障者の授産所も含め、合作して立派な物にしたらどうか。

A 通所されている父母からも、もう少し広い施設で整備して欲しいとの要望がある。生きがいの家との併設は考えていない。

つねづねの記

新年号のみ表紙をカラー印刷にする。
(昭和54年2月号)

新庁舎の議場にて初めての議会開催。
(昭和60年12月)

議員定数を26人から22人に削減する。
(昭和62年5月)

第4次総合計画の基本構想に、策定特別委員会を設置する。
(平成5年6月)

最終処分場建設のために特別委員会を設置する。
(平成8年5月)

議会だよりの編集発行のため、特別委員会として位置づける。
(平成9年12月)

議会広報、全国コンクールに初めて応募する。
(平成12年10月)

一般質問

町政を問う

ここが聞きたい

Q & A



黒柳広治 議員

廃棄物の処理方法は 堆肥化の道を探る

Q

2000年1月には、ダイオキシン類対策特別措置法が施行された。本年4月1日から処理法の一部改正にともない、自然界のごみを燃やすことも禁止となり罰則規定もある。この規制に対し本町の取り組みについて問う。

(1) 河川愛護運動等の草焼き作業は、処理基準に合致しているか。

(2) 公共施設、家庭等の樹木剪定作業から発生する枝葉の処理方法は、

A

廃棄物処理法が平成13年4月から改正されるが基準が示されていない。今後改正法を検討して早急な取り組み対応をしていきたい。

(1) 現在は基準に合っている。

(2) 例外規程として次の項目は認められる。

(3) 公共団体が施設管理に必要な焼却災害予防、応急対策、復旧に必要な焼却風俗慣習上必要な焼却農林漁業を営むためやむを得ない焼却日常生活上軽微な焼却破砕機でチップにして堆肥化し土中に還元する方法等も検討し具体化に取り組む。



河川愛護による草焼きの処理は

菱池保育園の建設は

平成15年度通園予定



内田 等 議員

Q 現在、民間企業で住宅開発が進められている旧中央グラウンド跡地、旧横落公共広場、そして近々新たにMRC跡地も住宅開発が計画されている。

こうした住宅開発によって、この地域での急激な人口増が予想される。こうした中でとりわけ早急に取り組まなければならないのが保育園児の増加対策である。現在町が計画している菱池保育園の移転改築計画を早急に進めていくべきである。その構想を問う。

A 幸田保育園のマンモス化解消の観点からしても、菱池保育園の場所移転は緊急の課題である。可能な限り横落と岩堀に近い位置の選定に努力してきたい。

先行取得債を導入して取得した防災広場の東北部4,500㎡、4,800㎡の敷地に計画している。定員120人程度の規模が妥当と思う。平成13年度中に基本設計及び実施設計をし、平成14年度には建設をする。平成15年度から通園できるような段取りで進めていきます。



菱池保育園の移転改築を早急に

4次総合計画の見直しを 状況を判断し対処対応

Q 総合計画は基本構想、基本計画、実施

計画の3本柱で構成され、それぞれ目標年次を15年、10年、3年と定めている。平成8年度を初年とし基本計画は12年で折返し年となる。

現時点で基本計画の数値目標と現況との開きがかなり見られる。例えば目標人口1つを見ても基本計画での数値目標は12年度で4万1,587人と示している。現在の財政状況等から見て数値目標の抜本的な見直しを考えるべきと思うがその考えについて問う。

A 4次総合計画は平成17年を目標とする

計画である。人口も3万3,000人で計画の80%、5万人の達成は至難であると思う。

市街化区域編入も達成率は53%である。計画は指標であって目標に向かって努力をする。無理をしない開発を進め柔軟な対応が必要と思う。計画に対する修正または抜本的な改正については対処対応していく。市街化編入に伴う税負担に対して、早く仮換地等指定して事業にかかり、土地の利用収益を上げることが先決であると思う。

生ごみ再資源化は

有機完熟堆肥化に努力



大須賀好夫 議員

Q

経済の高度成長により生活様式が大きく変化し、排出されるごみの量は年々増加している。隣接市に処理を依頼している生ごみを、本町で処理する計画の有無について問う。

生ごみのリサイクルを図り、自然環境の改善と健康な食生活を生みだし、自然と人間との永続的な共存を図る必要性について。

生ごみ完熟堆肥の生産により地力増強を図り、有機農産物をブランド化し、農業の担い手育成に寄与する考えは。

A

幸田町が排出するごみの量は年間9,000t、処理費用も2億7,950万円と増加している。そのうちの5,400tは生ごみである。

町で処理するために生ごみ堆肥化の地元協力を得て実験を進めている。

さらに畜産農家の協力を得て、給食センターや保育園から出る生ごみは畜ふん混合堆肥をつくり、農地に還元し有機農業への研究を重ねている。

ごみの分別を強化し資源化を図り減量化に努める。将来は大量のごみ処理のための堆肥化センター建設も検討する。

Q

学校、公園等にある砂場には、石、がれき等危険物の混入が見受けられる。また、犬猫等の侵入により汚されている砂場が多い。

危険面、衛生面から見て調査する必要があると考え。その対策の検討を問う。子どもたちの安全快適で親しまれる砂場確保のために、3カ所の所管を1カ所

砂場の維持管理は適切か 統一的管理を進める

に統一し、管理委託を実現し、小さな機械の購入で大きな成果を上げ、親しまれる砂場づくりの考えを問う。

小学校の管理は学校に委任している。砂の補充は毎年適宜に行っているが、検査消毒は実施していない。物理的な安全衛生面についても、砂場の管理は統一的管理ができるよう進めたい。

A

都市計画課の管理する内池、仲田、三ヶ根南、幸田公園等の砂場は大腸菌の検査等実施し、殺菌抗菌剤を使用して消毒を行っている。

全町的な砂場管理に機器を購入する件については検討課題とする。



地元協力で実験を進める



安全で親しまれる砂場に

環境基本計画の策定を急げ 計画の策定は時代の要求



成瀬克己 議員

Q 21世紀は環境の世紀とも言われている。今後の環境行政の取り組みについて問う。

- (1) 環境に対する長期計画として、環境目標や行動計画を定めた「環境基本計画」を早急に作成し、合せて「環境基本条例」の制定を急ぐべきと思うが、考えは。
- (2) 国際環境規格「ISO 14001」の認証取得について、どう検討されて来たか。
- (3) 環境リサイクル社会の拠点となるリサイクルセンターの建設計画は。
- (4) 太陽熱利用の省エネ住宅建築に対し、助成の考えは。



A (1) 「環境基本計画」は、14年度に策定する段取りで事務手続きを進めています。条例化の方向で検討します。

- (2) 役場を一つの事業所とみなし、職員全体が取り組む内容にまとめていきます。その上に立って認証取得に取り組んでいきます。
- (3) 現在の旧農協倉庫では、いろいろ問題があり、今後の検討課題とします。
- (4) 建設費用が割高になり、助成、補助に対しては今しばらく様子を見て、効果の広がりなど見極めながら検討します。

徘徊高齢者の家族に支援を

検討課題として取り組む

Q 高齢化の進展に伴い、徘徊高齢者の増加している。常時介護となれば家族は息付く暇もない。

本町では昨年末、徘徊高齢者の行方不明事件が発生した。本人はもとより、家族や関係者のご心労を思うとき心が痛む。

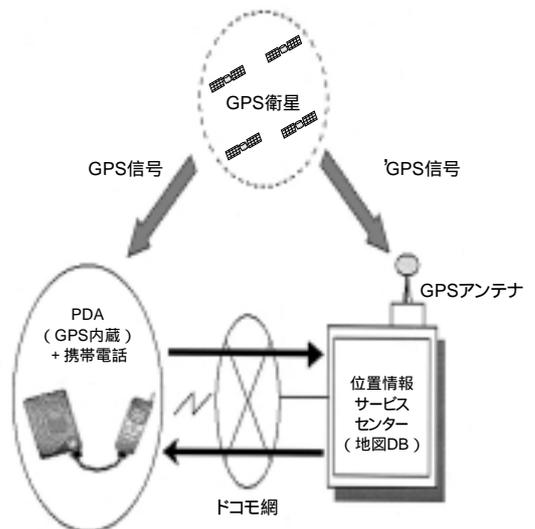
今後再発を防止するためにも、徘徊高齢者探知支援

サービス事業の早期取り組みが必要と考える。

人工衛生システムを使うた、GPS方式がベター。この事業への取り組みについての考えは。

A 徘徊高齢者の対策は、GPS方式が人工衛生を使って携帯電話での探知が可能ということにあります。

使用料金についても検討に価するかと思いますが、どのような状況のときにつけるのか、常時つけているのか、非常に潜在的な元気な人がいる…となると十分な把握しかねる面もあり、どういう形で予算化していくべきか、あるいはお勧めしていくべきか、これから研究して、適切な対応ができる道を探っていきます。



GPS信号を受信
()で受信したGPS信号をもとに)サービス要求
()を参考に)現在位置情報、地図、タウン情報送出

サービスイメージ図 (GPS方式)

高齢化社会の行政サービス

地域へ出向いて健康の配達



清水幹夫 議員

Q

(1) いきいきと老いるためには病気の予防はきわめて重要。特に生活習慣病予防、要介護状態の予防は重点とすべき課題と考える。

保健センターでの予防対策と平行して、各地区へ出張しての病気の予防など、出前の行政サービスをされたい。

(2) 毎日毎日の充実した生活が高齢者の生涯学習である。それには、生き物とかかわって生活することが最高と判断する。生き物を教材とした生涯学習を計画されたい。

A

(1) 13年度は、地域へ出向いた事業の展開を計画して取り組んでいきます。痴呆や寝たきりの原因となっている閉じこもり

(2) をなくすために、「待ち」から「出向いた」事業主体に進めます。憩の農園等における農産物の直販を通して生産する喜び。これは健康の



人に優しい地域づくりの推進を（ふれあいサロンにて）

面からも大きな意義があります。安城市におけるシルバーガーデニング、高浜市

では、薬草利用の健康法、知立市の野外観察などを参考に、今後取り組んでいきます。

町民に対する行政の説明責任

積極的に情報提供

Q

昨年行われた住民の意識調査の結果では、町政に町民の意向が反映されていないと判断できる。これは町民の皆さんの町政への無関心の現れ。

そこで問題となるのは今後の町行政の町民へのかかわり易い説明責任の実行。あらゆる方法を検討し、対策に取り組まなければならないと判断する。今後進むべき道について問う。

A

行政のテーマ・情報について、町民の皆さんと共有できる努力をすることは責務であります。積極的に問題を提起しながらご理解をいただくこと

が、行政の信頼につながると思っております。広報誌の活用、パンフレットや計画書を中心として、さらなるPRや啓発活動に努めます。

公聴制度、町づくりシンポジウム、参加集会を通じて持っている情報を伝えながら、皆さんに幸田町を愛していただくよう進めていきます。



町民の皆さんと共有できる努力を

開発優先で福祉切りきざむのか 厳正に対処



伊藤宗次 議員

Q 「福祉バス運行直後から町民が疑問をいただき、改善の声が絶えない。改善することなく漫然と続行することは、町政への信頼低下に結びつき、重要な課題となりつつある」と、車を運転しどこへでも行ける町民の声を盾に、大

上段に福祉切りきざみを構える一方で、補助金要綱を改正して限度額5,000万円を1億円に引き上げ、さらに「町長が認めれば」際限なく相見土地地区画整理事業に注ぎ込もうとする町長。

行政運営の根本的転換



行政改革はあらゆる面から取り組む

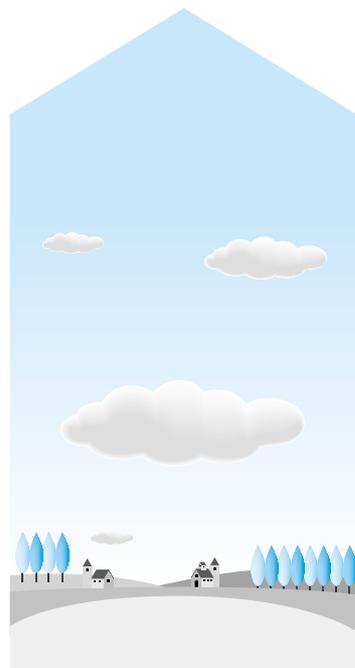
をすべきだ。

A 福祉バスは、利用者増をはかるために、小型化、路線、委託方式など多面的な提案を提起したものであります。よく検討したうえで、いい方向を探っていきます。

相見土地地区画整理事業の補助金は、限度額を厳格に運用し、青空天井で運用する考えはありません。今日の財政状況から、それが許されるはずがありません。このようなことを十分認識したうえで立って、町政運営、行財政の運営に当っていきます。

下水道一辺倒から合併浄化槽を

地域差をなくして平等に対応



Q 全町下水道化政策は合併浄化槽、集落排水下水道の多様な組み合わせで実現する政策が、いつの間にか多額な借金を財源に総額100億円を投下する下水道一辺倒に変質し、長期にわたる借金返済の財政負担の道を突っ走っている。

切替費補助制度をつくり、河川水質の浄化をすすめる政策を提言する。

A 財政負担の面から考えると、一部の地域で理解が得られて、「合併浄化槽でもよい」とするならば、それは選択肢のひとつであります。浄化槽の点検を担保に、補助することもひとつの方策であります。地域全部をそれぞれ個々に、合併浄化槽に切り替え

下水道一辺倒の整備計画を見直し、合併浄化槽をさらに奨励し、維持管理費を補助し、単独浄化槽を合併浄化槽に切替を呼びかけ、

CATVによる議会放映計画は

テレトピア構想の中で検討



丸山千代子 議員

Q CATVは、高感度アンテナで受信したテレビ番組を同軸ケーブルなどで、家庭の受信機に送信するというシステムです。

各地域において、情報化がすすむなか、より多様な情報のニーズに応えられる新しい情報の基盤としてCATVシステムを採用する自治体が増えてきている。CATVによる議会放映は、住民の関心も高い。幸田町のテレトピア構想のなかに議会放映を計画することに問う。CATV加入促進のための補助制度の考えは。

A テレトピア構想に対する取り組みについては、13年度予算に500万円計上した。全町内に光ファイバーの整備についての取り組みを検討していく。

その中で特に議会の放映に対するCATV化は、議会の状況がつぶさにわかり動く映像によって町民の皆さんに知っていただけるという意味においては非常に意味深いと思う。補助制度については実態調査をしながら、テレトピア構想の中で検討していく。



議会放映を町民に（議場にて）

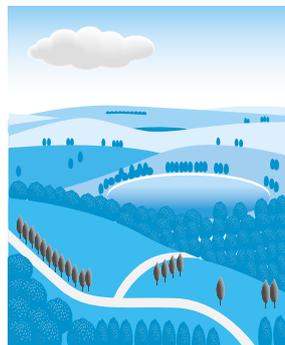
Q 炭は、防湿、土壌改良、水質改善などの効果があり、炭焼きが取り組まれている。

幸田町内でも竹炭を作っているグループ、小学校での炭焼き体験など、炭への関心は高い。ダイオキシンの発生などで、野焼きや家庭での焼却ができないため、植木の剪定枝や草などがごみとして出されている。剪定枝などの炭化は、地球温暖化の一因となる炭酸ガスを削減する効果もある。土壌改良材として還元し、ごみ減量の取り組みを。

A ダイオキシン発生等防ぐため、剪定枝の炭焼き、炭化によるごみ減量化等、環境に優しい、炭化自体に対するいろいろな面での効果も大きいと伺っている。

炭化そのものに対する見直しが広くされており、木の大きさ、太さや、まとまった量の炭焼きへの取り組みが必要であり、これからさらに研究を重ね、チップ化と同時に剪定枝等、炭化についても検討をしていきます。

剪定枝などの炭化でごみ減量を チップ化と炭化を検討



JR幸田駅と周辺整備は JRとの協議に努める



杉浦 務 議員

- Q** (1) 現在の幸田駅に障害者、年寄りが利用しやすい、地下道のスロープの改良と、駅構内にエレベーター設置の考えはあるか。
- (2) 幸田橋上駅構想到現場出先窓口事務、図書館の分館、生活問題、行政問題等、利便を併せ持つ駅の考えは。
- (3) 第5次総合計画に、広田川をオーバーし、橋上駅、駅前広場へ接続する道路を新設する考えはあるか。
- (4) 移転就職者用宿舍六粟宿舍の譲渡に伴い入居住民の転居と跡地について

どのように考えているか。

- A** (1) 幸田駅のバリアフリーは、現地下道の勾配幅員等、技術的な面から、JR側は改造の意図は今のところない。
- (2) 駅舎の基本構想は、前町長時代に検討されていた。

- 橋上駅については、今後JRと協議していく。
- (3) 駅西の整備は、地権者の理解が得られないと整備は進まない、今後の検討課題である。
- (4) 平成21年がタイムリミットであり、六粟宿舍住民の皆さんに、町営住宅等の入居も考えている。宿舍跡地利用については、更地なった状態で考える。



幸田駅の橋上駅構想は

- Q** (1) 西尾東インターから西尾市家武町地内と幸田町地内の工事の進捗状況は。
- (2) 蒲郡バイパス合流地点、芦谷インターの接続計画は平成20年と聞いているが、2005年の中部国際空港開港に向け、もう少し早くなるのではないか。

- A** (1) 西尾東インターから西尾市家武町地内までは、平成14年度の供用開始を目指して現在進められています。
- (2) 町内においては上六粟地内で現在工事が実施さ

- ないか今後の工事計画は。
- (3) 公共駐車場と、道の駅の場所、面積、施設、建物の計画はどのようになっているのか。
- (3) 道の駅については、桐山と須美の境、頂上付近と理解されたい。他の詳細についてはまだ確定もしていないので、今後関係する地元関係者の調整等が必要。

国道23号線岡崎バイパスは 早期完成を促す



早期完成が望まれる（国道23号）

総務

「行革」13年度の取り組み状況

各種審議会などは35あり585名で構成されています。今年度2つ削減し、法の範囲で削減統合廃止を図り、広く意見を得ようと公募制と女性の参加を促進します。

補助金の見直しを継続します。現在85の対象事業と団体があり、50ほどが強く見直しの対象になります。公益性の強弱・財政支援

の必要度・政策的奨励の程度などの客観的な基準により検討します。

窓口事務受付時間を5月から試行的に一階窓口にて、戸籍・住民票などを、毎週金曜日に夜7時まで延長して、受け付けるなどが主な内容であります。

町民対話集会開催

秋頃より2回目の近藤町長と町民の皆さんとの対話集会が、企画されました。全区で町づくりについて広く提言や意見を聴き、行政運営の参考にします。

これに先立ち7月には大津学教授を招いて、全町民を対象に町づくりシンポジウムを町民会館で開催すると報告を受けました。委員より、実行性のある行革と財政の健全運営、行政サービスの向上と住民自治のさらなる拡充を求める意見が多く出た。

活動報告 Report



町づくりのため町民の声を参考に
(一昨年の対話集会にて)

文教福祉

“町民プール” 無料開放日決まる



町民プールを無料開放する

2月19日協議会を開催し、16項目について説明を受け協議しました。

主なもの

- (1) 住民基本台帳ネットワークシステム。これは基本台帳のネットワーク化を図り、氏名、住所、性別、生年月日の4情報を全国の市町村間でやりとりができ、手続をすれば全国どこでも住民票の交付ができます。
- (2) 子育てを支援する「幸田町エンゼルプラン」が
- (3) 乳幼児医療費助成を拡大する。今まで2歳児まで全額助成に加え、3歳児の入院医療費自己負担金を全額助成する。
- (4) 町民プール無料開放の日を定める。

策定された。3つの基本理念を掲げている。安心して産み、育てられるまち

子育てを皆で支えあうまち

子供達がのびのび育つまち

乳幼児医療費助成を拡大する。今まで2歳児まで全額助成に加え、3歳児の入院医療費自己負担金を全額助成する。

町民プール無料開放の日を定める。

町民プール無料開放の日を定める。

無料期間と対象者等

祝日・記念日	無料期間	対象者	無料方法
こどもの日	平成13年5月3～5日	中学生以下	無料開放
敬老の日	平成13年9月15・16日	65歳以上	無料開放
成人の日	平成14年1月14日～1月末日	新成人者	無料引換券配布

その他多くの項目があり、委員の活発な質疑がなされ、理事者に実施を求める意見がでました。

委員会の ●Activities

産業建設

公共下水道 供用開始 4月1日

2月21日産業建設委員協議会が開催されました。建設部より18項目の説明を受け協議しました。

主なもの

流域関連公共下水道事業の内、中部処理分区の一部



地域の住環境の向上を望む

供用開始が4月1日より実施される。

Q 当該地域の工事進捗状況は。

A 今年度43区分にわたり事業を実施してきました。現在26区分は完成し残り17区分について年度内

100%完成を目指して工事を進めています。

Q 今回供用開始の範囲と地区の概要は。

A 事業区域は、幸田駅前通り、中央小学校・幸田小学校周辺の市街化区域で面積281haです。

今回供用開始部分は237ha、約85%になります。区域内計画人口は1万3、400人です。

家庭や事業所から出る汚水や生活排水を下水道に接続されて、地域の住環境の向上が望まれます。



お互いの編集技術を学ぶ

山梨県檜形町議と 意見交換

議会広報編集委員

去る2月15日山梨県檜形町議会から、議会だより編集委員5人が来町されました。本町議会からも議長をはじめ、編集委員全員出席し意見交換をしました。

檜形町は議会広報全国コンクールで上位レベルの評価を受けた優秀な議

会で、全国各議会からも多くの視察を受けているとのこと。

研修では、実務を中心に意見交換、質疑などが行われ、編集の基本的理念、編集観点や技法などきめ細かい内容に、各委員もよい刺激を受け、編集実務に役立つ有意義な

内容でした。

今後も皆さんに親しまれ愛読いただける、よりよい「こうた議会だより」づくりを目指していきたいと思えます。



私の思ったこと

傍聴見聞



「海谷」

今泉善隆さん

役場の一階より上にあがった事のない私が初めて五階まで行って傍聴席につき、まず立派な議場に驚きました。

傍聴者の少人数を見て、全ての町民に公開されているのに、町政に関心を寄せてる人が少ないのかなと思いました。

今回の質疑の中にJR幸田駅及び周辺整備についてのバリアフリー化、幸田橋上駅についての見直し等、興味深く障害者の代表の方々と共に傍聴しました。高齢者や、障害者の社会参加障壁の除去、これらはまだ日本では浸透していません、交通バリアフリーな

しには障害者の社会参加は困難です。

この大変意義ある質問に共感を受けると共に、その他多くの町政の抱えている問題や目標を知りました。近い将来町内に「道の駅」ができる事も初めて知りました。

今後も町民に公約した事の実現のため、またよりよい幸田町の新時代をみざして、活発な議論と慎重な審議を期待します。



議会だより全国コンクール



やったぜ!! 奨励賞

町民に親しまれる議会だよりをモットーに、編集委員7人と事務局はこれまで頑張ってきました。

そして本年は全国コンクールに応募してみようと皆さんで決め、さらに特集記事等をいろいろ工夫した結果、思いもよらぬ奨励賞を頂くことができ、編集委員一同さらなる飛躍をめざし、努力を重ねる決意です。

議会広報全国コンクール

には、今回517誌の応募があり、その中で30誌が頂ける奨励賞に選ばれました。これもひとえに先輩広報委員の努力とご指導の賜と皆さんが快く原稿を書いて下さったおかげと感謝の念でいっぱいです。

今後も議会と町民のパイプ役として、「議会だより」のより読み易い紙面づくりを精進してまいります。

編集後記

21世紀最初の議会だより記念すべき100号をお届けします。今回は年度でいけば12年度最後の議会で、13年度の町の予算を審議する議会でもありました。

長く景気低迷が続く中、いかに町民の皆さまに夢と希望を与える予算が編成できるかを、真剣に討議する議会でもありました。本文をよくお読みいただき、皆さまからのご意見をお待ちしています。

本誌にご寄稿下さいました皆さまに厚くお礼申し上げますとともに、今号が最後の編集となりました編集委員一同、今までのご協力とご愛読に感謝いたします。

編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 畔柳 武治 |
| 副委員長 | 成瀬 克己 |
| 委員 | 志賀 式雄 |
| 委員 | 草次 孝一 |
| 委員 | 山本 勉 |
| 委員 | 黒柳 広治 |
| 委員 | 笹野 康男 |